平成 26 年 9 月 25 日

静岡県文化財等救済ネットワーク構成団体　様

静岡県文化財等救済ネットワーク事務局
（静岡県教育委員会文化財保護課）

静岡県文化財等救済ネットワーク　シンポジウムの開催について（通知）

日頃より、静岡県文化財等救済ネットワークの活動に御理解・御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本年度も伊豆屋伝八文化振興財団及び静岡県文化財保存協会の御協力により、別紙のとおり『シンポジウム「文化財を守る」』を開催することとなりました。また、当日は会場にてネットワーク構成団体が活動内容を紹介するポスターセッションの開設も予定しております。

ついては、開催について貴団体会員に周知いただくとともに、シンポジウム及びポスターセッションへの参加を希望する場合は下記により申し込みをお願いします。

なお、会員以外でもネットワークの活動に興味のある方がいらっしゃいましたら、お知らせ願います。

記

１　申込方法　　別紙参加申込書をファクシミリ又はメールにて送付願います。

２　送 付 先　　静岡県教育委員会文化財保護課文化財管理班
　　ファクシミリ　　054－250－2784
　　メールアドレス　kyoui_bunkazai@pref.shizuoka.lg.jp

３　提出期限　　ポスターセッションへの参加　　10 月 10 日（金）
　　シンポジウムの参加のみの場合　10 月 23 日（木）

４　そ の 他　　・シンポジウムへの申込については、会員の方より事務局まで直接申し込んでいただいても構いません。
　　・ポスターセッションをお申込の団体には、別途書式をお送りします。印刷等は、事務局で行いますので、団体 PR も含めて、ぜひご参加ください。

担　当　文化財管理班（菊池）
電　話　０５４－２２１－３１８３
ＦＡＸ　０５４－２５０－２７８４

別紙

シンポジウム「文化財を守る」

1　目　　的

　静岡県伊豆半島の沿岸部は、過去に何度かの津波や高潮によって被害を受けており、その状況を伝える古文書や遺構などが近年多数発見されている。これらの災害史を紐解き、研究することは過去の災害に向き合い、未来の生活を守る盾となる。

　静岡県文化財等救済ネットワークでは、「災害遺産に学ぶ」と題して第３回目のシンポジウムを開催する。郷土に残る災害を伝える文化遺産の事例を学習しながら、改めて「記録」が伝える災害の「記憶」を考える。

　　また、後半には静岡県文化財等救済ネットワークの会員の相互理解のため、意見交換やポスターセッションを実施する。

2　主　　催　　静岡県文化財等救済ネットワーク
　　一般財団法人伊豆屋伝八文化振興財団
　　静岡県文化財保存協会

3　後　　援　　熱海市教育委員会・静岡県博物館協会

4　開催日時　　平成 26 年 10 月 25 日（土）

5　会　　場　　熱海市　起雲閣ギャラリールーム

6　日　　程

12:00～	起雲閣見学者受付	
13:00～	シンポジウム受付	
13:20	開　　会	熱海市教育委員会あいさつ
	趣旨説明	静岡県教育委員会文化財保護課長
	表　　彰	一般財団法人　伊豆屋伝八文化振興財団理事長
13:45	報 告 １	「伊豆東海岸の災害史」 伊東市教育委員会　金子浩之
	報 告 ２	「町を守った武ケ浜浪除け」 下田市教育委員会　増山順一郎
15:00	ポスターセッション（休憩）	
15:20	問題提起	「災害遺産―保存から伝承へ―」 常葉大学造形学部特任教授　日比野秀男
15:30	意見交換	
16:15	閉　　会	